

紙上交流誌

わ っ か

令和4年3月1日 第63号 1回 発行

発行所 社会福祉法人仙台市障害者福祉協会 〒980-0022 仙台市青葉区五橋2-12-2 仙台市福祉プラザ8階 TEL 022-266-0294 FAX 022-266-0292 Eメール: office-p@shinsyou-sendai.or.jp

編集 紙上交流事業編集委員会 仙台市知的障害者関係団体連絡協議会 特定非営利活動法人仙台市精神保健福祉団体連絡協議会 社会福祉法人仙台市障害者福祉協会

写真、イラスト、短歌、俳句、紹介、募集などの記事(点字のものでも可)を、お手紙やFAXで随時募集しております。なお、投稿記事の文字数は、800字程度とさせていただきます。

「障害者週間のポスター」

最優秀賞作品

「障害者週間のポスター」は、「障害の有無に関わらず誰もが能力を発揮して、安全に安心して生活できる社会実現」をテーマに平成5年度から募集を行っているものです。

今年度は20点の応募をいただきました。東京2020パラリンピックが開催されたこともあり、パラリンピックを題材とした作品や障害者に関するマークを取り上げた作品が見受けられました。

選考の結果、小学生部門では仙台市立片平丁小学校5年の菅原瑠唯さんが、中学生部門では聖ドミニコ学院中学校2年の片山凜さんが最優秀賞を受賞されました。

小学生部門の菅原瑠唯さんの作品は、中央にヘルプマークが大きく描かれ、周りにヘルプマークを必要としている方々が描かれています。

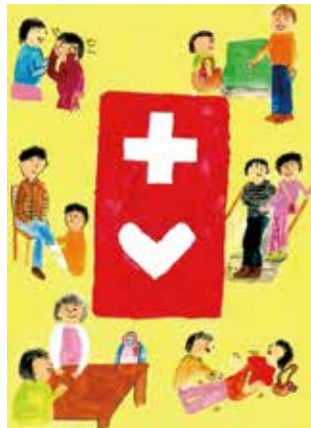
中学生部門の片山凜さんの作品は、中央に補助犬の理解を促すマークが描かれ、その他にも様々な障害者に関するマークが周りに描かれています。

小学生部門 最優秀賞

題名: ヘルプマークと僕らの世界

仙台市立片平丁小学校5年

菅原瑠唯さん



●作品に込めた思い

目に見えなくても、言葉で伝えられることが難しくてもこのマークが君と君、また、あなたからあなた達を「思いやり」という真心で支えます。ということを表現しました。

中学生部門 最優秀賞

題名: ワンタフルピクトグラム

聖ドミニコ学院中学校2年

片山凜さん



●作品に込めた思い

CMで盲導犬がお店に入らず、お店に行くのを楽しみにしていた人が入れなかったというお話を見ました。私は盲導犬を連れてくる人も、体が不自由な人も皆楽しく生活できるようにってほしいと思います。描きました。



「わっか」の「わ」は身体・知的・精神障害者の「話」であり、おしゃべりすることで「輪」を広げ、「和」を進めよう、という意味が込められています。

仙台市障害者による書道・写真・
書道・写真・絵画コンテスト
入賞作品決定

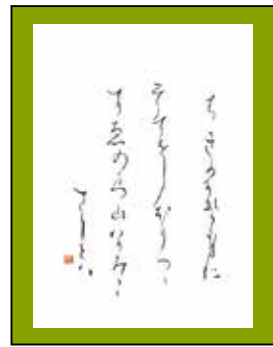
仙台市障害者による書道・写真・
絵画コンテスト（第36回障害者による
書道・写真全国コンテストの予選
を兼ねる）の審査会が新型コロナウイルス
イルス感染症蔓延防止対策を講じて3回に分けて行われました（令和3年9月2日（木）絵画、9月3日（金）書道、9月6日（月）写真）。

今年度は書道の部70点、写真の部27点、絵画の部53点の応募があり、審査の結果、書道、写真、絵画の各部門で金賞2点、銀賞4点、銅賞6点が選ばれました。入賞者は次のページのとおりでです。

（作品の一部は第36回障害者による書道・写真全国コンテストに推薦しています。絵画の部は全国コンテストがございませんので、推薦はありません）

各部門金賞作品のテーマやコメントをご紹介します。

書道の部
金賞



柴崎優美さん
「契りきなかたみに袖をしぼりつつ
すえ 朶の松山波越さじとは（百人一首）」

●作者コメント
墨の色の変化と線の太細の変化を工夫しました。



佐藤芳江さん
「寿」

●作者コメント
参加した書道教室で、先生より薦められて「寿」という字を選びました。コロナ禍で大変な時期が終息して穏やかな時が来るようにと思いを込めて書きました。

写真の部
金賞



織田信一さん
「やすらぎの刻」

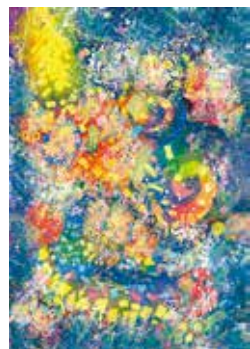
●作者コメント
桜の満開日を狙って行きました。木蓮と桜と海のコラボ。



小林輝さん
「美味しそー！」

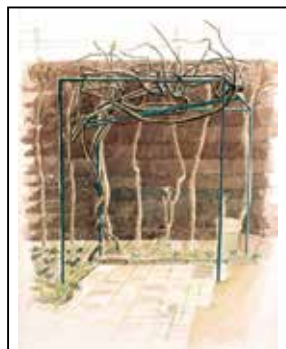
●作者コメント
見頃になった蓮の花を撮りました。雨上がりのつぼみが、かき氷に見えておいしそうと思っていいたら、一匹の虫も近づいて来て、食べようとしてるみたいでした。

絵画の部
金賞



鈴木正広さん
「ろろろ(かたつむり)おさんぽ(チリ)」

●作者コメント
ぼくは、ろろろ(かたつむり)とおさんぽと、ともだちとせんせいが好きです。



吉田ひろ子さん
「キウイの棚」

●作者コメント
キウイの枝を描いてみたかった。



令和3年度 仙台市障害者による書道・写真・絵画コンテスト入賞者一覧

【書道の部】

敬称略

賞	氏名	作品名	賞	氏名	作品名
金賞	柴崎 優美	契りきなかたみに袖をしぼりつつ未 の松山波越さじとは (百人一首)	銅賞	伊藤 光夫	天真
金賞	佐藤 芳江	寿	銅賞	伊藤 怜央	象
銀賞	庄 子 泰 子	有楽	銅賞	菊地 とわ子	漁歌
銀賞	野地 繁	義	銅賞	中村 文音	葉
銀賞	田中 琴 絵	柘榴	銅賞	武藤 裕 生	ばんりよく 万緑
銀賞	さくら 井 悠 希	争坐位帖 (顔真卿)	銅賞	菅 井 裕 子	ピンク

【写真の部】

敬称略

賞	氏名	作品名	賞	氏名	作品名
金賞	お織 田 信 一	やすらぎの刻	銅賞	佐藤 ひろ 和	盲導犬!! 仙台で仕事をする案 内人。ワンダフルな御理解を!!
金賞	こ 小 林 輝	美味しそー！	銅賞	ち ば 葉 弘	ふぼう山のぞ 不忘山を望む
銀賞	なか 山 雅 人	未来への希望の光	銅賞	まつ 松 岡 えみり	みどりなか いぬ 緑の中の犬のおさんぼ
銀賞	あ 阿 部 征史朗	水の星くず	銅賞	わた 渡 辺 加津子	しきさい なか およ 色彩の中で泳ぐ
銀賞	さん 三 浦 正 利	震災を見た展望台	銅賞	なか 中 嶋 溜 衣	セラミカ工場の昼の風景
銀賞	わが 我 妻 進 之	介助犬とイチゴ	銅賞	さ 佐 藤 孝 志	ぼく! おじいちゃんの装具よ り大きくなったよ

【絵画の部】

敬称略

賞	氏名	作品名	賞	氏名	作品名
金賞	すす 鈴 木 正 広	るろろ (かたつむり) おさんぼパチリ	銅賞	いし 石 田 光 伸	くるま
金賞	よし 吉 田 広 子	キウイの棚	銅賞	ドラゴンスター	たくさんの観光バス
銀賞	すす 鈴 木 杏	うさぎのおかいもの	銅賞	まる 丸 子 大 知	ぜんいん 加藤 全員が輝いたマラソン!
銀賞	おい 及 川 遥 己	及川ゴン太	銅賞	か 加 藤 文 雄	せんだいたなはた 仙台七塔まつり
銀賞	お の 小 野 寺 福	いろんな馬たち	銅賞	さ 佐 藤 竜 太	じゅういちめんかんのん ぼ さつりつそう 十一面観音菩薩立像
銀賞	り ん ご	アマビエと花	銅賞	ゆ 遊 佐 愛	スミールステッドおしごとの仲間 たいせつ ひどたち 大切な人達



● 作文 (オセロ大会)

作者 一歩一歩福祉社会仙台もぐらの家
引地 圭さん

仙台市青葉区折立にある仙台もぐらの家に僕が来たのは、平成4年の4月1日15才の時でした。初めての仕事場でした。

僕がオセロを始めたきっかけは、オセロをとおして、まず僕自身が皆よりオセロで強くなっていきたかったからです。長町の「たいはつくる」にある東北オセロ連盟に通って大会に出たこともあり。今は毎日、昼休みにもぐらの家の仲間とオセロをしています。今年の目標は級よりも上の段の初段を取る事です。これからもっと上を目指してがんばって、少しずつ前に進んでいきたいと思います。そして、がんばって誰よりも力をも身に付けて、これからもオセロを楽しくやっていければと考えています。

令和4年1月11日

● 作品(女の子の絵)

作者 一歩一歩福祉社会仙台もぐらの家

佐々木真央さん



＜作品への思い＞

かわいい女の子の絵を描きました。

● 写真(大観音)

作者 一歩一歩福祉社会かがやきの杜

佐藤ゆう子さん



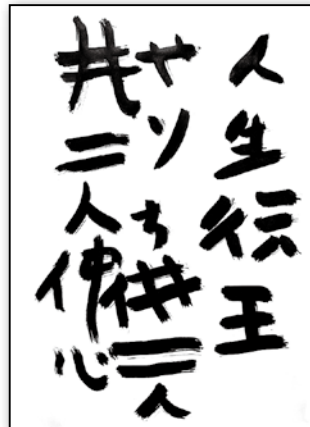
＜作品への思い＞

ドライブの途中で撮りました。雲の形がいい感じ。

● 習字(人生)

作者 一歩一歩福祉社会かがやきの杜

藤川 恵さん



＜作品への思い＞

二人仲良く

きぼう園活動紹介

● クリスマスツリー飾り

施設の一大イベントであるクリスマス会に向けて、大きなツリーに飾り付けをしました。ここがいいかな、なかなかつけるのが難しいな。と四苦八苦しながらとてもきれいに飾れました。



● クリスマス飾り

風船で雪だるまの飾りを作りました。最初は恐る恐る膨らませていましたが、時間をかけて可愛い雪だるまが完成しました。



● きぼう園季節の装飾

きぼう園の作業棟にある大きな窓には、利用者と職員とで季節のイベントごとに様々な装飾を施しています。



利用者さんと話し合って決めた結果、今年度のクリスマスは人気キャラクターやケーキ、サンタさんが煙突に落ちこちてしまった様子を装飾しました。

● カレンダー作成

絵が得意な利用者さんに2022年の干支の寅の絵を描いて頂き、カレンダーを作成しました。とても迫力のあるイラストが出来上がりました。

